

世界の情勢(中東) II

科目ナンバリング ARS-106
【IV】 選択 2単位

伊藤 寛了

1. 授業の概要(ねらい)

中東は民族的にも、宗教的にも多様性に満ちた地域です。それがこの地域を学ぶ面白さでもあり、難しさでもあります。この授業では、そのような多様性をもつ中東の情勢について、歴史的経緯を踏まえながら、各国事情や地域的な課題、社会・文化的な特徴をとらえて学びます。

2. 授業の到達目標

- (1)中東に関する基本的な知識を身につける。
- (2)中東各国の特徴や課題について理解する。
- (3)中東に関するニュースや新聞記事などを理解できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)レスポンスペーパーを含む平常点(50%)
- (2)期末試験(50%)

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しません

参考文献

酒井啓子『<中東>の考え方』(講談社現代新書) その他の参考文献等については、授業中に適宜紹介します。

5. 準備学修の内容

各回の授業内容について図書館やインターネット、新聞などで調べるよう心がけてください(授業の理解度が違ってきます)。

6. その他履修上の注意事項

- ・春学期(前期)開講の「世界の情勢(中東)I」を履修していることが望ましい。
- ・中東に関するゲストスピーカーによる講義を予定(変更の可能性あり)。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス・イントロダクション
- 【第2回】 中東現代史①
- 【第3回】 中東現代史②
- 【第4回】 各国情勢:イスラエル
- 【第5回】 各国情勢:イラク
- 【第6回】 各国情勢:シリア
- 【第7回】 各国情勢:レバノン
- 【第8回】 中東が抱える課題①:パレスチナ問題
- 【第9回】 中東が抱える課題②:スンナ派とシーア派
- 【第10回】 中東が抱える課題③:難民問題
- 【第11回】 アラブの春
- 【第12回】 中東をめぐる国際関係
- 【第13回】 中東情勢:ゲストスピーカー
- 【第14回】 中東情勢:ゲストスピーカー
- 【第15回】 授業総括